

<p>団 体 名</p>	<p>三河材の普及を目的とした木育プロジェクトチーム</p>
<p>説明文</p>	<p>本プロジェクトは、奥三河でとれる地域材（三河材）を用いたプロダクトの製作・配布を通じて、市民の方々に①日本の木材利用にまつわる問題を把握してもらったり、レーザー加工機などのデジタル工作機を用いた②新たなものづくり技術の普及をすることでものづくりの関係人口を増やし、③地域材に実際に触れることから生まれる木との原体験を通して、地域材の魅力発信及び利用促進を図る木育プロジェクトです。</p> <p>※「木育」：幼少期から木材との関わりを体験することで、豊かなくらしや社会、森づくりに貢献する市民の育成をめざす活動</p> <p>今年度は主に以下の、二つの活動を行いました。</p> <p>A【三河材おもちゃの製作及び配布】（写真①）</p> <p>製作したおもちゃは画像に示すように、型枠にはめて①パズルのように遊んだり、型枠から取り出し②ならべて遊んだり、積み木のように③積み上げて遊ぶことができます。</p> <p>また、材料として、三河桧の無垢板材を使用しているため、お風呂場や水場でも遊ぶことも可能であり、製作過程においても塗装による仕上げを一切していないことから、万が一、こどもが口に入れてしまっても安心な代物となっています。</p> <p>5日間にわたり、開催した配布イベントでは、道の駅とよはしにおいて、昨年度よりも多い総勢100組の方々へおもちゃの配布をすることができました。また、配布に際して実施したアンケート調査では92名の方々から、プロジェクトの改善にむけた貴重なご意見をいただくことができました。</p> <p>B【ベビーボックスの製作】豊橋市保健所との連携事業（写真②）</p> <p>この連携事業では、豊橋市保健所ホイップの助産師、保健師の方々と協働で、産まれたばかりのあかちゃんのお世話に必要なアイテムを収納できる木箱の製作を行いました。</p> <p>小さなお子さんを持つご家族が「より使いやすく、親しみやすい」ボックスのデザインをコンセプトとし、実際に保健所にお越しになった方々からの意見も踏まえながらデザインを検討していきました。</p> <p>できあがったベビーボックスは、収納としての機能はもちろん、妊婦でも①片手で持ち運びができる軽さや、②本棚としても扱える間仕切りを特徴とし、こどもから大人まで誰にとっても使いやすいデザインとなっています。材料は三河杉の無垢板材を使用しており、特有の色見や香りを楽しむことができます。また、安全性を考慮し、持ち手部分等の角をとり、触れやすくすることで、やわらかな手触りや温かみを感じることができると思います。</p> <p>私たちは今後もこうした産官学が連携するプロジェクトに継続して取り組み、地域の方々と共に木育の重要性について考え、発信していきます。</p>

三河材を用いた豊橋オリジナルおもちゃ



パズルにしてあそぶ



ならべてあそぶ



積みきのようにあそぶ

ベビーボックス



ふたと間仕切りの仕様



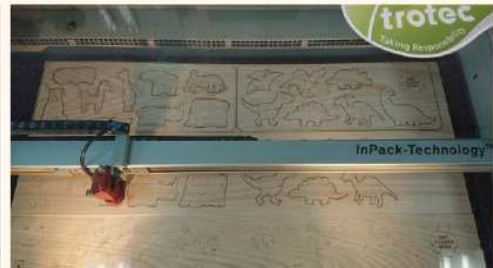
本棚として使える間仕切り



片手で持ち運べる軽さ



配布イベント



レーザー加工の様子



ベビーボックス製作

